

タイトル	非認知能力の育成を通して学びに向かう力をつける
がっこうめい 学校名	四條畷市立四條畷中学校

取組みの概要

昨年度、四條畷中学校区でめざす子ども像を話し合い、「みんなでるるる～やってみる・ねばる・つながる」とわかりやすいキャッチコピーを作りました。3つの「るるる」、やってみるは自分を高める力、ねばるは自分と向き合う力、つながるは他者とつながる力という非認知能力と呼ばれるものであることを知り、岡山大学の中山芳一准教授を講師として学ぶことを始めました。

やってみる・ねばる・つながる のめざす姿			
	レベル1	レベル2	レベル3
やってみる	基礎的な課題に挑戦する	発展的な課題に挑戦する	自ら問いを立てることができ、その解決に挑戦する
ねばる	課題に取り組む	苦手な課題や間違えた課題に再度取り組む	計画を立て、苦手な課題や間違えた課題に理解するまで取り組む
つながる	自分の意見や考えを伝える相手の意見を聞く	周りの人と意見をまとめる	新しい発想を生み出したり、考えを深めたりする

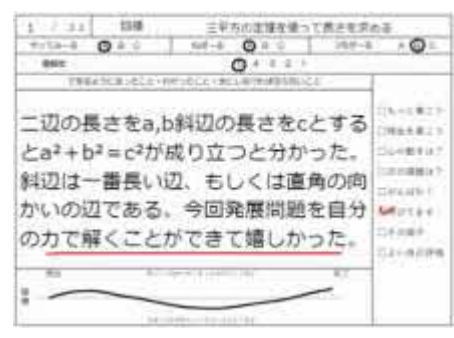
2023年度は授業の中でそれぞれの力の行動指標を各教科で考え、右上のようにまとめました。【資料①】



次に、授業の振り返りに3つの力の自己評価を入れるようにしました。また、ギミックブラッシュアップシート(指導案)の作成方法、ギミック(感情を動かす仕掛け)と呼ばれるものの理解を進めました。11月には公開授業および研究授業を行い、教科を超えて生徒の感情を揺さぶる授業づくりを検討しました。3学期には各教科で研究授業を行い、今年の研究の確認

を行いました。

また、来年度に向けて非認知能力の振り返りを含む振り返り活動を全教科で共通して評価に反映できるよう、振り返り表と評価ルーブリックを議論しました【資料②】。以上のことを定期的に教科会議を開くことで授業改善の方向性をそろえることができたことは大きな成果です。



課題 生徒アンケートの結果より

年々学力格差が広がってきている中で授業がわからない生徒が増えてきていましたが、今年度の取組みのギミックを意識した授業改善と「るるる」の振り返りによって生徒の学習に向かう意識や、簡単にあきらめてはいけないという気持ちが高まりました。その結果、授業の理解度も上がりました。来年度は振り返りのレベルを上げていくことと、さらに「できる・分かる」、そして感情に訴える授業で学びに向かう力をつけることを全教員の目標にしていきます。

単元名	検定	授業中の理解	テスト	学年末テスト
A. 平方根(平方根の性質)	0	2	2	
B. 平方根(平方根の性質)	0	7	3	
C. 平方根(平方根の性質)	0	7	1	

	6月	11月	2月
1年	93.3%	92.2%	84.5%
2年	84.6%	90.1%	89.1%
3年	75.9%	82.5%	85.5%

	6月	11月	2月
1年	83.7%	94.1%	93.6%
2年	76.4%	86.9%	91.6%
3年	85.4%	92.7%	96.4%